



平成 26 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社プロルート丸光
 代表者名 代表取締役社長 前田 佳央
 (JASDAQ・コード: 8256)
 問合せ先 取締役管理本部長 安田 康一
 (TEL 06-6262-0303)

業績予想並びに配当予想の修正及び特別利益、特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期（平成 25 年 3 月 21 日～平成 26 年 3 月 20 日）におきまして、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 2 日に公表した平成 26 年 3 月期の連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、あわせて配当予想についてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 3 月 21 日～平成 26 年 3 月 20 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	17,770	130	30	20	1.21
今回修正予想(B)	16,901	△43	△186	△576	△34.91
増減額(B-A)	△869	△173	△216	△596	
増減率(%)	△4.9	—	—	—	
(ご参考)前年実績 (平成 25 年 3 月期)	17,762	124	23	16	1.02

(2) 平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 25 年 3 月 21 日～平成 26 年 3 月 20 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	17,500	—	50	40	2.43
今回修正予想(B)	16,658	27	△108	△747	△45.27
増減額(B-A)	△842	—	△158	△787	
増減率(%)	△4.8	—	—	—	
(ご参考)前年実績 (平成 25 年 3 月期)	17,492	163	115	70	4.25

(3) 修正の理由

<連結業績>

売上高につきましては、個人消費の力強い回復が見られない中、ファストファッションが拡大するなど顧客である衣料小売店の競争が激化したことに加え、不安定な天候の影響を受け、当初の予想を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、より一層の販売管理コストの削減に努めましたが、円安の進行に伴う原価率のアップや第 2 四半期連結会計期間で計上した取引先の民事再生手続開始の申立てによ

る貸倒引当金繰入額の影響により、当初の予想を下回る見込みであります。

また、当期純利益につきましては、今回発生した特別利益及び特別損失（下記「3. 特別利益の計上及び特別損失の計上」参照）の計上により、当初の予想を下回る見込みであります。

<個別業績>

個別業績の修正理由につきましては、連結において記載した理由と概ね同様ですが、連結子会社2社の株式について、期末純資産が各々当社帳簿価額を下回ったため、連結子会社の株式評価損 371 百万円を特別損失として計上する見込みであります。

(4) 次期の見通し

次期は中期事業計画の最終年度として、「価値主義への変革」を基本方針に、引き続き各種施策を推し進めてまいります。加えて、平成 26 年 4 月 18 日に開示いたしました事業構造改革の実施により、営業力強化や業務効率化及び大幅なコスト削減を実現し、個別、連結業績において黒字化を果たしてまいります。

なお、連結子会社を含めまして、次期の業績予想につきましては、平成 26 年 5 月 2 日に発表する予定であります。

2. 配当予想の修正

(1) 平成 26 年 3 月期期末配当予想の修正

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 26 年 2 月 3 日発表)	—	0.00	—	未定	未定
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成 25 年 3 月期)実績	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 修正の理由

前回発表いたしました業績予想の達成に向けて鋭意取り組んでまいりましたが、特別損失の計上等の影響により当期純損失を計上見込みのため、誠に遺憾ながら今期の配当については見送らせていただきます。

3. 特別利益及び特別損失の計上

(1) 特別利益

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益が発生いたしました。

① 投資有価証券売却の理由

保有資産の効率化を図るため。

② 投資有価証券の売却日（売却完了日）

平成 26 年 2 月 19 日

③ 投資有価証券売却の内容

売却株式 当社保有の上場有価証券 1 銘柄

売却益 134 百万円（特別利益に計上）

(2) 特別損失

① 事業構造改善費用

平成 26 年 4 月 18 日付けで開示いたしました事業構造改革の実施により、東京店の前売卸事業の本店への機能集約に伴う費用約 197 百万円や固定資産等の減損損失約 116 百万円をはじめ、人員合理化による割増退職金及び大量退職に伴う退職給付債務の未認識数理計算上の差異等の一括償却額約 81 百万円など、事業構造改善費用として、合計 400 百万円程度の特別損失を計上する見込みであります。

② 連結子会社ののれんの減損損失

連結子会社株式会社グローバルルート of の経営成績及び今後の見通し等を勘案し、のれんの減損損失 92 百万円を特別損失として計上する見込みであります。

③ 連結子会社の固定資産の減損損失

連結子会社株式会社サンマールにおいて、「固定資産の減損に係る会計基準」等に基づき、保有する固定資産の減損処理を行い、22 百万円を特別損失として計上する見込みであります。

④ 連結子会社株式評価損

連結子会社であります株式会社グローバルルート及び株式会社サンマールの期末純資産が各々当社帳簿価額を下回ったため、個別業績において連結子会社の株式評価損として 371 百万円の特別損失を計上する見込みであります。なお、本件に伴う連結業績への影響はありません。

(注) 本資料に記載しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上